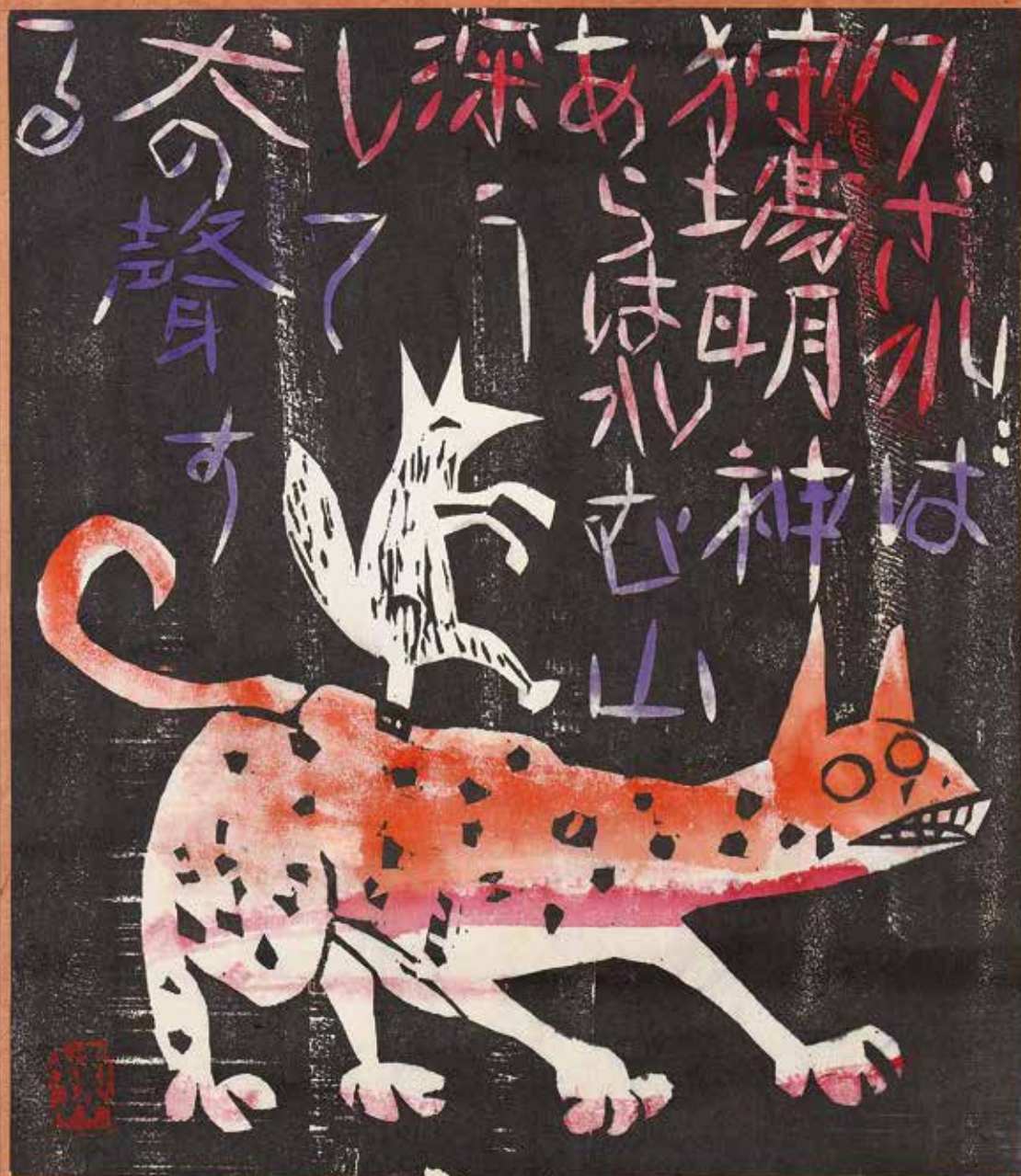




流離抄板画 孤狼の檻 1953年 30.2 × 26.3cm

所蔵作品一挙公開

棟方志功

展 I

言葉のちから

2025年
6月14日(土) - 7月27日(日)

棟方志功展Ⅱ 敬愛のしるし 8/2(土)~9/15(月祝)

棟方志功展Ⅲ 神仏のかたち 9/21(日)~11/5(水)

※それぞれの会期ですべての棟方作品の展示替えを行います。

※同展半券をお持ち頂いた方は、2回目以降、団体割引料金でご入館頂けます
(3会期共、各種割引との併用不可)。

日本民藝館



1



2

近代日本を代表する版画家・棟方志功（1903～1975）。板に顔がつくのではないかというほどの距離で、目を見開き猛然と彫り上げる姿は、今なお多くの人に思い起こされる光景です。棟方の没後50年の節目の年に当たる本年、当館では会期とテーマを3回に分け、所蔵する板画を当館初となる規模で公開します。

詩歌、句、物語など、言葉に対して関心を寄せた棟方は、同郷の

福士幸次郎（1889～1946）をはじめ、吉井勇（1886～1960）や草野心平（1903～1988）、保田與重郎（1910～1981）ら、数々の詩人や文学者らとの親交を深め、作品の題材に取り入れました。時に自ら詩や文を書いたり、独特な造語を生み出したりと、棟方の言葉への興味は生涯尽きることがありませんでした。第1章となる本展では、棟方が言葉や物語から着想した板画を紹介します。

1. 大和し美し版画卷 倭建命
紙本墨摺 1936年 26.4×36.5cm
2. 不来方板画冊 「雨ニモマケズ」の冊
紙本墨摺裏彩色 1952年 30.1×40.6cm
3. 雪しんしんの冊
紙本墨摺裏彩色 1958年 40.8×32.5cm
4. 青天抄板画冊 弥生富士の冊
紙本墨摺裏彩色 1955～56年 26.2×15.7cm
5. 空海頌 竹藪
紙本墨拓 1937年 27.6×20.1cm
6. 萬葉譜 梅
紙本墨摺 1935年 42.5×39.5cm
7. 女人観世音 振向妃の冊
紙本墨摺裏彩色 1949年 28.8×44.3cm



3



4



5

○記念対談

石井頼子（棟方志功研究・学芸員）
×
渡邊一美（南砺市立福光美術館館長）
7月5日(土) 18:00～19:30
料金・1,500円（入館料別、要電話予約）

○担当学芸員による列伝解説

6月22日(日) 14:00～〔約30分〕
申込不要 参加無料、入館料別

○2025年6月14日刊

日本民藝館所蔵 棟方志功板画集
3,300円（税込）A4変形横版、並製本
棟方志功板画およそ100点を所収。



6



7

- 月曜休館（祝日の場合は開館し、翌日休館） □10:00～17:00（入館は16:30まで）
- 入館料 一般1,500円 大高生800円 □〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33
- TEL. 03-3467-4527 □京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分
- 西館公開日（旧柳宗悦邸）・会期中の第2水曜、第2土曜、第3水曜、第3土曜（開館時間 10:00～16:30、入館は16:00まで）

<https://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館

次回展・所蔵品一挙公開 棟方志功展Ⅱ 敬愛のしるし 8/2～9/15



関連展覧会 ○2025/9/6(土)～12/16(木)〔予定〕 棟方志功と福光の人々〔仮〕 大阪日本民芸館 ○2026/2/28(土)～4/5(日) 没後50年 極まり知らない無尽蔵の美 棟方志功展 富山・南砺市立福光美術館